

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 12 月 10 日 (2015.12.10)

【公開番号】特開 2014-92694 (P2014-92694A)

【公開日】平成 26 年 5 月 19 日 (2014.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2014-026

【出願番号】特願 2012-243332 (P2012-243332)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1343 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/1343

G 0 2 F 1/1335 5 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 10 月 22 日 (2015.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

素子と、

前記素子に対応する様に設けられた反射膜と、

前記反射膜と前記素子との間に設けられた絶縁膜と、

前記反射膜上に設けられた増反射膜と、を含み、

前記反射膜は、前記絶縁膜側からチタン膜と窒化チタン膜とアルミニウム膜とが積層されており、

前記チタン膜は、面方位が $Ti\{002\}$ の面積が 50% 以上であり、

前記窒化チタン膜は、面方位が $TiN\{111\}$ の面積が 50% 以上であり、

前記アルミニウム膜は、面方位が $Al\{111\}$ の面積が 50% 以上である事を特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

前記絶縁膜は、珪素と燐とを含む酸化珪素膜である事を特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置。

【請求項 3】

前記増反射膜は、酸化珪素膜と窒化珪素膜とが積層されている事を特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 4】

前記絶縁膜における前記珪素の重量割合は、2 wt %から 6 wt % の範囲にある事を特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 に記載の電気光学装置を備えた事を特徴とする電子機器。